

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 53番
- *交読文 …………… 28番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 180番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 344番
- メッセージ …………… サラとハガル - 約束の子の母と肉の子の母(創 21:1-21)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 442番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

『主が____の繁栄を回復されたとき、____は夢みる者のようであった。その時____の口は笑いで満たされ、____の舌は喜びの声で満たされた。その時「主は____のために大いなる事をなされた」と言った者が、もろもろの国民の中にあつた。主は____のために大いなる事をなされたので、____は喜んだ。主よ、どうか、____の繁栄を、ネゲブの川のように回復してください。涙をもって種まく____は、喜びの声をもって刈り取る。種を携え、涙を流して出て行く____は、束を携え、喜びの声をあげて帰ってくるであろう。』(詩篇 126 編)

『____は互に歌いあって主をほめ、かつ感謝し、「主はめぐみ深く、そのいつくしみはとこしえに____に絶えることがない」と言った。そして____は主を賛美する時、大声をあげて叫んだ。主の宮の基礎がすえられたからである。』(エズラ 3:11)

いよいよ主は、百歳のアブラハムと九十歳のサラとに、約束しておられた子・イサクを与えられた。主が「いのちを与える」と言われるなら、どんなに望み得ないように見える人にも、いのちが与えられ、いかに九十歳の女性であっても、子を生ませ、子に乳を与え、養う力さえ与えられるのである。サラは言った「神はわたしを笑わせて下さった。聞く者は皆わたしのことで笑うでしょう。」(6節) この言葉から、彼女の穏やかな、充足した笑顔が伝わってくる。子を産まない女として、もはや手遅れの女として自分も主人も諦めていたのに、主が子を授けて下さった・・・それはどれほどの喜びであったろう。神が約束して下さいた事は、必ず実現すると信じて待ち、それが成就した時、その人は決して奪われる事の無い笑いで満たされ、揺るがされることのない平安に溢れ、そして敵は恥を見るのだ。

イサクが乳離れした時、奴隷女ハガルが生んだ子イシュマエルがイサクをからかっているのを、サラは見た。イシュマエルは、それまで、アブラハムの子として中心人物のように見られていたのに、本妻サラからイサクが生まれた途端、一族郎党の注目は彼から離れ、イサクに移ってしまったためだろう。サラはアブラハムに訴えた。「このはしためとその子を追い出してください。このはしための子はわたしの子イサクと共に、世継となるべき者ではありません」(創世記 21:10) アブラハムにはイシュマエルも子である。相当悩んだ。しかし残念ながら彼女の言う通り、肉による者は、主の約束の祝福を、共に相続はできない。サラとハガルの二人は、肉の力に頼って生きる人と、神の約束に頼って生きる人をあらわしている。(ガラテヤ 4:21-27) 人が御心を退けて、自分の良かれを優先して生み出したものは、残酷なまでに必ず衰退し、神に由来するものに置き換えられて行く。そして、それに執着するなら、苦しみもまた大きなものとなる。また、”肉”によって生まれたイシュマエルが、“霊”によって生まれたイサクを迫害したのと同じように、世界は昔から、肉に属する者・悪魔サタンに属する者が、霊に属する者・神に属する者を迫害する構図にある。今まさに世界は、イサクの子孫(イスラエル人)とイシュマエルの子孫(アラブ人)の対立によって振り回され、キリスト者は、イスラム教徒に激しく迫害されている。しかし、肉に属する者は、霊に属する者と一緒に天の相続には決して与れない。やがて切り離され、追い出されて行くのだ。(ガラテヤ 4:30-31)

ハガルとイシュマエルの母子は、パンと水の草袋だけを持たされ、家から追い出された。(14-16節) 彼女達は荒野をさまよい歩き、いよいよ水が尽きると、子が死ぬのを見ていられないと投げ出して離れ、声を上げて泣いた。一見、涙を誘う場面だが、彼女達は不必要な放浪をし、不必要な涙を流している。ベエル・シェバ(七つの井戸の意)には、水も町もある地域なのに、彼女達はわざわざ「荒野野」方面へ行き、水が無くなった時、すぐ傍に井戸があつたのにそれも見逃し、子が死ぬのを見ていられないと悲嘆に暮れ、子を突き放し、離れた所で座って泣いていた。感情に飲まれ、自暴自棄になっていたのが分かる。何より彼女は、最も大事な事を忘れていた。かつて彼女が高慢のゆえに追い出された時、主の使いが「わたしは、あなたの子孫を数えきれないほど多く増やす。」(創 16:10)と言われ、わざわざイシュマエル(神は聞かれる)という名前までつけ、この子は確かに祝福され増えていくと教えられたのに。人は、負の感情に支配されてしまうと、御言葉が茨によって遮られ、自ら滅びへと向かってしまうものだ。ハガルは、負の感情という茨で御言葉が塞がれ、自暴自棄になり、いらぬ苦勞、いらぬ放浪、いらぬ涙を流したように、私達も、思い込みや感情によって御言葉を忘れ、いらぬ勞を負ってしまうものだ。しかし主は憐み深い。主は彼女の目を開き、約束を思い出させ、イシュマエルを生きながらえさせて下さったばかりでなく、彼を荒野で弓を射る強い者へと成長させて下さった。(創世記 21:20) しかしハガルは信仰のしっかりした人をイシュマエルの嫁にやるのではなく、エジプトから嫁をもらい、御言葉に頼って生きる生き方からどんどん離れ、自分の腕力や感情を鍛え、それに頼る生き方をして行った。

私達は、肉に属する者になってはならない。サラのように御言葉の約束を信じて待ち望むなら、必ず、永遠にしほむことの無い笑いと平安が与えられるが、ハガルのように、御言葉に頼る事を止め、自らの血肉や感情を鍛え、それに頼って生きる生き方をして行くな、たとえ一時は栄えても必ず衰退し、約束の祝福から切り離されてしまう。ハガルのようにではなく、サラのように信じて生きる皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

